

女性管理職が語る

自分サイズのサステナブル

新型コロナウイルス禍でテレワークやオンライン教育が進み、デジタル

技術は暮らしの中で欠か

せないものとなっていま

す。一方で、子供のIT

(情報技術)環境の違いや

それに伴う教育機会の格

差があらわになっていま

す。子供たちのデジタル

リテラシー(利用能力)

をどう伸ばしていけばよ

いか。日本の将来を担う

だけに、みなで考えて

いく課題といえます。

それには国も企業も個

人も、できることを少し

でもやってみるべきあり

すプロジェクトを、子供の学習支援などを手掛けるNPO法人キッズドア(東京・中央)と協力して実施しています。私自身もこのプロジェクトに参加しており、今回はその話をしようと思います。

沼田 綾子氏
日本HP
コンシューマー事業本部 本部長

沼田 綾子氏



めまた・あやこ 2001年、コンパックコンピュータ(現日本HP)入社。Eコマースやマーケティングの部署を経て16年にコンシューマーPC製品部へ異動。17年5月から現職。

ムを作っていました。

初めてパソコンでゲー

ムをする子供たちのため

に、対戦で注意する点や

マナー、リスクなどにつ

いても講義しました。

私自身、自分の仕事が

少しでも地域の誰かの役

に立っていると実感で

せん、何回か通う中でキ

ツズドアの方にお聞きし

たのが、この取り組みを

通じ、家庭で親とのコミ

ュニケーションが増えた

り、自分の意見を言っ

て、主体的に取り組む様

子が、嬉しいことはありません。

こうしたサステナビリ

ティ(持続可能性)への

供たちが目を輝かせながらゲームの話をしているのを見て、好きなことを存分にできる環境があれば、どこまでも子供たちは興味のままに自分の能力を發揮し成長していくのだらうなと感じました。

今年で20回目を数えま

す。現在注力しているの

は「気候変動対策」「人

権」「デジタルエクイテ

イ(公平)」の3つです。

米HP創業者の一人デ

ビッド・パッカー氏は

「社会貢献は少数の社員

のみが担当すべきではな

い。全社員が行うべきこ

とである」と発言してい

ます。この言葉のよき

に、担当する製品などを通

じて自分サイズのサステ

ナブルな活動をしていき

たいと思っています。

必要が高性能で高価なゲ

ーミングPCや専用のキ

ーボードやマウス、チェ

アなどはこちらから提供

しますが、児童館に設

けるゲーム専用ルーム

は子供たちと一緒に作

っていくのです。